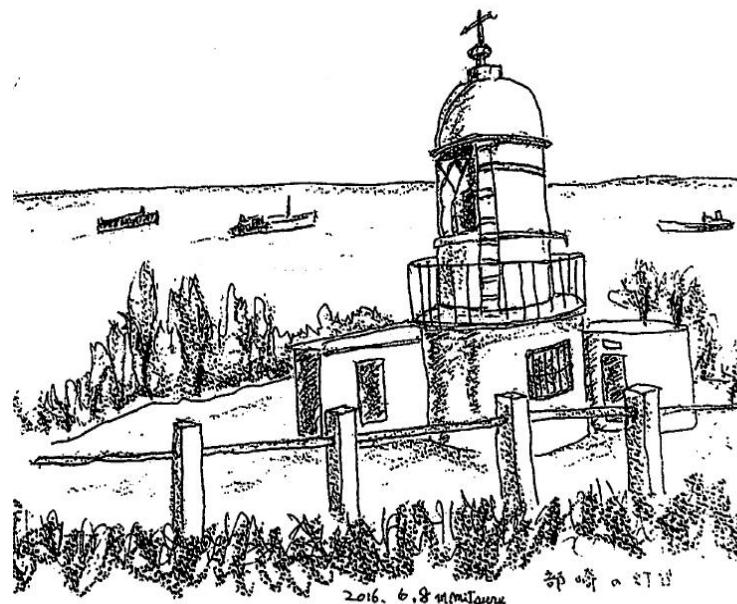


週報2021年11月14日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年11月14日

ピアノ：赤松真佐子 姉 オルガン：力丸勝子 師
司会：吉武尚美 姉 献身の祈り：大熊ひとみ 姉 メッセージ：山崎 師

祈祷	開会の祈り
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和
賛美	新聖歌 338「山行くも海行くも」
祈祷	*今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*
祈祷	献身の祈り
賛美	新聖歌 446「あなたの罪過ちは」
賛美	コーラス 13「あなたの愛の力で」
聖書朗読	使徒の働き 8章9 - 19節
説教題	「神の権威によって」
祈祷	御言葉の応答の祈り
頌栄	「主の祈り」
祈祷	祝福と派遣の祈り

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

使徒の働き 8章 9-19節
「神の権威によって」

①導入(金銀に勝る神の名前)

神学校で教会音楽の課題で聖歌「キリストには代えられません」の作曲者ジョージ・ヘブアリー＝シェー(1909-2013)の事を調べました。彼は敬虔な牧師家庭で育ち、成人する頃には教会の聖歌隊、ソングリーダとして奉仕していました。母は息子シェーに対して、音楽を通じて神に用いられることを願ってオリジナルの詩や曲をプレゼントしました。その中の一つが、「キリストには代えられません」です。

シェーは大学を経済的な理由で中退し保険会社に就職しました。そこである時、たまたま受けた大きな放送局の合唱団のオーディションに合格しました。それは多大な報酬と輝かしい経歴が約束された事を意味します。彼は音楽伝道者としての道か、受かった合唱団に進むか悩みました。そこで、彼が思いだしたのは母がプレゼントしてくれた歌詞「キリストには代えられません」です。彼はこの歌詞のごとく「金銀よりも、私はイエスの方を取りたい」と決断し、音楽伝道師としての道に進みました。そして彼は母の歌詞にメロディを付け、この賛美は生まれたのです。

今日の聖書箇所では、神の力をお金で買おうとした魔術師シモンが登場します。彼の一番の問題は神の権威を軽んじた事です。今日の聖書箇所から私達が学ぶことは“神の権威、キリストの名に勝るものは無い”と言う事です。

②本論(神の権威によって)

今日、登場する魔術師シモンはサマリヤ地方では名の知れた魔術師でした。人々は皆彼の魔術・奇術を見て、驚きました。皆彼を神の力を現す者だと考えていました。しかし町の人々はビリボと出会い、その考え方を一変させます。ビリボが信じる聖靈の力によって様々に不思議な業が現わされました。このことによって、皆イエス・キリストを救い主と受け入れ(シモンも受け入れる)、聖靈のバプテスマを受けました。この現れを通じて、町の者達は皆、これは神の業だと驚嘆しました。この一連の働きを見たシモンは使徒達の所へ行き、聖

靈を授ける権威をお金で買おうとしました。しかし、この行為によってシモンは使徒ペテロから叱責されます。それは神の権威を軽んじたからです。

シモンは聖靈の力によって自分の名をもっと人々に知らしめようとしたのです。反対に使徒たちは、自分の名前ではなく、イエス様の名前を広めようとした。その為に彼らはエルサレムを追われ、日常の安全の保障も奪われました。しかし彼らはイエス様の名前を伝える事を止めませんでした。彼らが迫害の為に追い散らされても、信じぬいたのは神様の計画です。イエス様の名前を伝える為に自分が選ばれた事、そしてそのためのしと不思議な力が与えられていると言う事です。これが神の権威を掲げる生き方です。

魔術師シモンの興味深い所は、ペテロの叱責によって悔い改める所です。彼のそのような祈りに導いたのは叱責の力ではなく、聖靈の力によるものです。今日の話は言うならば“権威を自分に置くか、それとも神に置くか”と言う話です。使徒たちは権威を我が物にして振り回す人たちによって、散らされて行きました。しかし使徒達は“全ての人が神に立ち返るように”神の権威を信じて、一步踏み出したのです。言うなら、シモンの祈りは、聖靈の導きを信じて愛と赦しの力を示した使徒達によって導かれて行ったのです。

③結論(聖靈の力によって)

信仰者の信仰が試される時があります。そしてその試されるのは、祈りの時間、奉仕の質、品位を保つ、そしてあらゆる問題に対してじっと耐える事とかではありません。それらは信仰の現れであって、中心ではないのです。信仰が試さると言う事は、主に対する従順をそこで示すと言う事です。

よく、信仰生活で二つの選択肢がある場合、やりたくない方を選んだ方が良いとアドバイスする方がいます。このポイントはやりたくない事を選ぶ所ではありません。どちら(二つに一つとは限らない)が主に対する従順を示すか選ぶ事。そして世の権威を捨てる事がポイントです。そしてこれこそ今日私達が学んだ、権威を神に置くと言う事です。

聖靈の力によって人は新しく作り変えられます。自分の栄光ではなく、神の栄光を求める生き方へと変えられます。聖靈は今も私達の内に働き、神に対する従順へと導き、神の名前を示す生き方へと導いて下さい。私達の証を待っている人たちがいます。その人々に福音を伝える事が出来るように聖靈の力を求めて参りましょう。